



図書だより

No.3



上峰中学校 図書室 令和6年6月発行

「本をたくさん読もう！」



青少年読書感想文全国コンクール課題図書

が決まりました。お知らせします。

季節の言葉

五月雨（さみだれ）

旧暦の5月に降る雨。現在の暦では6月。「さ」は神に捧げる稲の意味で「みだれ」は雨、田植えのころに降る天からの恵です。

白南風（しらはえ）

梅雨明けに吹く南風。夏の訪れを感じさせる白い雲が空に浮かぶころに吹きます。梅雨の黒雲の下の風は黒南風（くろはえ）といひます。

これからの季節は雨の日が多くなり、室内で過ごす時間も多くなりますね。図書室で過ごす生徒さんも増えることと思います。普段読まないようなジャンルの本を読んでみたり、友だちから紹介してもらった本を読んでみたり、たくさん本に親しんでみて下さいね。

お預かります

雨が多くなる季節です。カバンの中などに入れた本がぬれたりしないように気をつけて下さい。



おしらせ

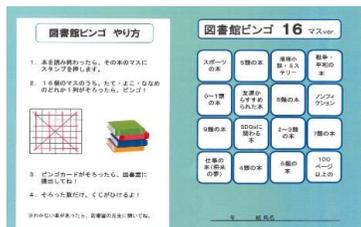
6月の図書室では「本でビンゴ」を開催します。借りる本の背表紙にある「分類番号」で縦・横・ななめにスタンプを揃えたら、ビンゴが完成です。完成したビンゴの数によってくじがひけます。

賞品も用意してますので、たくさん参加してくださいね。

期間：6月17日（月）～6月21日（金）

抽選期間：6月24日（月）～6月28日（金）

※用紙は図書室にあります。



キース・カラプレーゼ||著

理論社

「希望のひとしづく」

オハイオ州の小さな町には、願いを叶えてくれるという井戸がある。中学1年生のライアンは、裕福な家の一人っ子アーネスト、幼なじみのリジーとともに、この井戸を見つける。そして、クラスメイトや町の人たちのさまざまな願い事を知る。アーネストの亡くなったおじいちゃんが屋根裏部屋に遺していたものたちが、不思議な縁でいろんな人の手にわたり奇跡的にその願いがかなっていく。悩みや問題を抱える人々がちょっとしたやさしさで救われていく、希望と愛でいっぱいのお話。

「アフリカで、バッグの会社はじめました」寄り道多め仲本千津の進んできた道

目の覚めるような原色に、花や動物、サークル模様がデザインされていて、持つだけで心が華やいてくる一人人気のバッグ・ブランド「リッチーエブリデイ」を立ち上げた仲本千津さんは、いま注目の「社会起業家」です。千津さんは、子供のころから「人の命を救う仕事をしたい」と思っていました。最初は医師になりたいという夢をもっていたが、それをあきらめることになり、次に国連職員を目指します。大学に入り、今度は研究者への道を進みましたが、銀行員として社会人生活をスタートすることになりました。それでも、自分の夢をかなえる仕事を探しつづけた千津さんは、転職先の仕事でアフリカ・ウガンダのシングルマザーたちに出会います。「彼女たちの力になれるビジネスはないだろうか」。そして千津さんは、アフリカンプリントを使ったバッグをつくる会社を立ち上げました。バッグづくりを通して、アフリカの貧困問題を解決し、女性を勇気づけ、輝かせたいー迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた仲本千津さんの姿を描くドキュメンタリー。



江口絵理||著

さえら書房